

令和元年度決算に係る

定 期 監 査 資 料
決 算 審 査

令 和 2 年 8 月

福祉保健部ささえあい福祉局長寿社会課

目 次	頁
1 前年度指摘事項等に対する措置等	1
(1) 指摘事項	1
(2) 監査意見	1
(3) 決算審査意見	1
2 前年度県議会決算審査特別委員会の指摘事項に対する処理状況	1
3 職員の定員、現員調べ	1
4 役付職員の調べ	1
5 主な事業に関する調べ	2
6 決算資料(総括表)	7
7 事業別実施状況調べ	8
8 予備費の充用調べ	18
9 繰越関係調べ	18
(1) 継続費逋欠繰越調べ.....	18
(2) 繰越明許費調べ.....	18
(3) 事故繰越調べ.....	18
10 収入証紙取扱額調べ	18
11 現金の取扱状況	18
12 財産に関する調べ	19
(1) 公有財産	19
(2) 金券類の保有状況	20
(3) 基金	20
(4) 債権	21
13 財産の貸付及び使用許可調べ	22
(1) 土地及び建物.....	22
(2) 物品(1品の取得価格が100万円以上のもの及び寄附受納時の評価額が100万円以上のもの)	
14 借受不動産明細調べ	22
15 駐車場の管理状況調べ	22
(1) 管理状況	22
(2) 減免の考え方	23
(3) 使用料の見直し	23
16 寄附物件の受納状況調べ	23
17 備品の処分状況調べ.....	23
18 現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ	23
(1) 現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ	23
(2) 物品の照合	23
19 貸付金等状況調べ	24
(1) 総括表	24
(2) 償還状況	24
○ 意見、要望等.....	25

1 前年度指摘事項等に対する措置等

(1) 指摘事項

該当なし

(2) 監査意見

該当なし

(3) 決算審査意見

決算審査意見	処理状況等
収入未済額の縮減について 税外収入では、債権管理事務取扱要領等に沿って、収入未済発生の未然防止など債権の適正管理、回収に引き続き取り組まれない。	○毎年、債務者との話し合いにより、債務承認書(年間支払計画)を徴取し、その計画に基づき返済を受けている。 ○令和元年度も平成31年4月から令和2年3月にかけて12回の納付を確認しており、引き続き、回収を図っていく。

2 前年度県議会決算審査特別委員会の指摘事項(口頭指摘を含む。)に対する処理状況

該当なし

3 職員の定員、現員調べ

種別 区分	事務職員		技術職員		現業職員		合計		備 考
	2.4.1 現在	31.4.1 現在	2.4.1 現在	31.4.1 現在	2.4.1 現在	31.4.1 現在	2.4.1 現在	31.4.1 現在	
定 員	13	14	0	0	0	0	13	14	
現 員	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	
	13	14	0	0	0	0	13	14	
過不足(△)	0	0	0	0	0	0	0	0	
臨時職員	0	0	0	0	0	0	0	0	
会計年度 任用職員	2	2	0	0	0	0	2	2	31非常勤職員(一般事務2名)

4 役付職員の調べ

(令和2年8月1日現在)

職 名	氏 名	在職期間		備 考
		年	月	
課長	吉野 知子	1	4	
課長補佐	寺谷 直樹	0	4	
地域包括ケア推進担当課長 補佐	若原 正俊	1	4	
介護保険・施設担当課長補 佐	秋本 大志	2	4	

5 主な事業に関する調べ

(単位:千円)

事業名	決算額	財源内訳		
		国庫支出金	その他	一般財源
「介護で働きたい！」を増やす参入促進事業	15,693		13,597	2,096
鳥取元気プロジェクト	—			
元気づくり総合戦略	—			
<p>ア 目的及び事業の実施状況</p> <p>(ア) 目的 介護人材の参入促進のため、介護の仕事の認知度向上・イメージアップ、就労支援を行うとともに、総合的な人材確保対策を講じるため、事業者団体や職能団体、養成機関等と連携し基盤整備を図る。</p> <p>(イ) 事業の実施状況</p> <p>①中高生夏休み介護の仕事体験事業 夏休み期間を活用し、介護の職場の仕事を実際に体験し、高齢者や介護の仕事を身近に感じ、介護に関わる様々な仕事に対して興味、関心を持ってもらう。 〈実績〉 ・参加生徒数： 54名(中学生男子1名女子27名、高校生男子4名女子22名) ・受入施設数： 27施設(特別養護老人ホーム、デイサービスセンター等)</p> <p>②介護人材確保のためのマッチング機能強化事業 介護分野への多様な人材層の参入促進、潜在介護福祉士等の再就職支援のため、きめ細やかなマッチングを行うことにより、より一層の介護人材の確保を図った。 〈実績〉 委託先: 社会福祉法人鳥取県社会福祉協議会 (介護専属の就職支援コーディネーターを1名配置) 〈主な活動状況〉 ・相談件数: 989件 ・新規求職登録数: 171件 ・巡回訪問数(施設等): 281件 ・出張相談: 20回 ・就職決定件数: 83件 〈就職フェアへの参加、相談コーナーでの相談対応〉 ・5/18福祉の就職フェア東部(とりぎん文化会館) 参加者50名 ・5/26福祉の就職フェア西部(米子ガイナックスシアター) 参加者37名</p> <p>③介護の夜明け～イメージ変革プロジェクト～ 介護の仕事に対する偏ったイメージを一新し、介護人材の参入を促進するため、事業者団体や職能団体、養成機関、行政等が連携して、県民に介護を身近に感じてもらい介護の仕事の魅力を発信するためイベントの開催及び情報発信を行った。 〈実績〉 委託先: 介護のイメージ変革プロジェクト実行委員会(事務局:介護福祉士会) 〈事業内容〉 ・介護フェア2019開催事業 日 時: 令和元年11月9日(土) 10時30分～15時 場 所: 鳥取県民体育館サブアリーナ(鳥取市布勢) 参加者: 約500名 ・介護の手紙募集及び手紙を活用した介護の仕事の魅力発信事業 応募総数30作品(手紙7、エピソード23)から優秀作品を選定し、イベント当日に表彰式を実施。</p>				

④介護事業者による参入促進取組支援事業

介護事業者が行う介護業界の魅力発信・人材確保に寄与する取組に対し支援を行った。

〈実績〉

- ・補助額:124,887円
- ・補助事業者: 社会福祉法人真誠会
- ・補助事業概要: 周辺住民に介護助手の役割や目的の理解促進や、事業所の取組を知ってもらうため説明会を開催した。(参加者12名)

⑤介護未経験者等の参入促進事業

介護分野への参入促進、介護に関する理解促進を働きかける機会として、介護に関する基本的な知識を学ぶ「介護の入門的研修」を開催した。

〈委託先〉

鳥取県社会福祉協議会

〈研修内容・時間数〉

基礎講座(介護に関する知識・介護の基本) 3時間

入門講座(基本的な介護の方法・認知症の理解・障害の理解) 18時間

〈開催場所・日程〉

- ・東部 県立福祉人材研修センター (11/20、11/21、11/26、11/27)
- ・中部 地域交流センター アゼリアホール (10/28、10/29、11/6、11/7)
- ・西部 米子東病院 東館 (12/3、12/4、12/10、12/11)

〈参加者〉43名

⑥介護人材確保対策協議会

本県におけるさらなる介護人材確保の取組を推進するため、高齢者介護の関係機関・団体等との役割分担連携等の確認及び介護人材確保に向けた取組の検討を行った。

〈実績〉

- ・開催回数: 1回(第1回:10/21 ※第2回(3/23)は、新型コロナウイルスの影響を考慮し開催中止)
- ・参加者: 第7期鳥取県介護保険事業支援計画及び老人福祉計画策定・推進委員会委員6名、他
- ・内容: 各団体の人材確保の取組の情報共有、県の人材確保に係る取組への助言・評価に係る協議など介護人材確保に係る課題解決に向けた意見交換。

⑦人材育成等に取り組む事業所の認証評価制度実施事業

介護職を志す者の参入・定着促進を進めるため、平成30年に創設された「鳥取県介護人材育成事業者認証制度」の広報周知及び事業者認証を行い、認証事業者介護事業者の人材育成の取組の「見える化」を図るとともに、業界全体のレベルアップとボトムアップを推進した。

〈認証評価制度概要〉

- ・認証項目: 4項目16分類
(1)新規採用職員の育成体制 (2)キャリアパスと人材育成 (3)職場環境 (4)社会貢献等
- ・委託先: 公益財団法人介護労働安定センター鳥取支部
- ・認証事業者数: 4事業者

⑧介護事業所で働く介護職員等の実態把握調査事業

介護職員等が働きやすい職場環境の整備、確保及び介護事業所による雇用管理改善のための基礎資料を得ることを目的として、介護事業者に対して、実態把握のためのアンケート調査を実施した。

- ・実施団体…鳥取県社会福祉協議会
- ・調査対象…県内の介護職員を配置する介護サービス提供事業所 767事業所
- ・回収率…80.3% (616/767件)
- ・調査期間…令和元年7月～11月
- ・調査対象期間…平成30年度及び平成28年度（介護職員の実人数と年齢別の採用者数、離職者数等）

イ 令和元年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点

高齢者、若者など介護未経験者が受講しやすい「介護の入門的研修」を新規に開催し、介護人材の裾野拡大を図った。また、教員が生徒に対して介護に関する授業や職業紹介において活用できるように、教育委員会と連携して、学校・教員等に研修の周知を図った。結果は3名の参加であったが、教育関係者に対して介護に関する理解を深める機会を提供することができた。

ウ 成果及び効果

本事業の実施により、中高生、若者、高齢者など幅広い層に対して、介護の仕事に対する興味・関心を持つ機会を提供し、介護人材の参入促進を図ることができた。また、事業者団体、職能団体、養成機関を構成員として実行委員会形式での事業実施による現場からの介護の魅力発信を行うなど、行政と関係団体とが一体となり、介護人材確保に取り組む基盤整備を進めることができた。

【就職支援コーディネーターの活動実績】

内容	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
来所者等に対する相談件数	135件	629件	878件	989件
来所者等のうち就職決定件数	12件	54件	62件	83件
介護事業所等への巡回訪問[訪問施設数]	145件	270件	278件	281件

※「平成28年度」欄は平成28年11月から平成29年3月までの実績

エ 課題

介護人材の参入促進の取組に加えて、介護人材の定着のため雇用環境や処遇の改善及び介護分野における人材の離職防止と定着促進の取組を充実させていく必要がある。

(単位:千円)

事業名	決算額	財源内訳		
		国庫支出金	その他	一般財源
認知症サポートプロジェクト事業	50,802	17,828	8,219	24,755
鳥取元気プロジェクト	—			
元気づくり総合戦略	—			
<p>ア 目的及び事業の実施状況</p> <p>(ア) 目的</p> <p>平成24年時点で全国の認知症高齢者数は約462万人とされており、令和7年には約700万人前後まで上昇すると言われている。本県でも平成29年4月現在で約2万1千人と推計され、今後も高齢化の進展に伴い増加していく見込みであり、認知症の早期発見・早期治療に向けた取組がより重要となってきている。</p> <p>そこで、国の「認知症施策推進総合戦略」(新オレンジプラン)を踏まえ、認知症の人やその家族の視点に立った総合的な取組を推進していく。</p> <p>(イ) 事業の実施状況</p> <p>①認知症サポーター数の拡大</p> <p>認知症サポーター養成講座・認知症サポーターステップアップ講座の開催、キャラバン・メイト(サポーター養成講座の講師)の養成研修・スキルアップ研修の開催、若年性認知症本人の講師派遣等により、サポーター数の拡大に取り組んだ。</p> <p>〈実績〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・認知症サポーター養成講座 :28回開催、928名受講 ・認知症サポーターステップアップ講座:3回開催、55名受講 ・キャラバン・メイト養成研修:1回開催、40名受講 ・キャラバン・メイトスキルアップ研修:1回開催、9名受講 <p>②認知症医療体制の充実</p> <p>地域の認知症医療体制の中核となる「認知症疾患医療センター」を県内で5ヶ所運営を委託した。また、かかりつけ医・病院勤務の医療従事者・看護師・歯科医師・薬剤師に対する認知症対応力向上研修を実施した。</p> <p>〈実績〉</p> <p>○認知症疾患医療センター運営 〔基幹型〕鳥取大学医学部附属病院 〔地域型〕渡辺病院、倉吉病院、養和病院、西伯病院</p> <p>○認知症対応力向上研修</p> <ul style="list-style-type: none"> ・かかりつけ医認知症対応力向上研修:各地区医師会委託、各地区合計8回開催、371名受講 ・病院勤務の医療従事者向け認知症対応力向上研修:鳥取県看護協会委託、2回開催、計54名受講 ・看護職員認知症対応力向上研修:鳥取県看護協会委託、1回開催、85名受講 ・歯科医師認知症対応力向上研修:鳥取県歯科医師会委託、1回開催、64名受講 ・薬剤師認知症対応力向上研修:鳥取県薬剤師会委託、2回開催予定だったが、コロナウイルス感染防止のため中止。 <p>③認知症高齢者介護制度人材の育成</p> <p>認知症介護職員等を対象とした各種研修会を開催した。</p> <p>〈実績〉</p> <p>○認知症介護指導者養成研修等派遣 (認知症介護研究・研修仙台センター主催)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・養成研修:2名派遣 ・フォローアップ研修:3名派遣 <p>○認知症介護実践者等研修 (社会福祉法人敬仁会委託)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護実践者研修:4回開催、209名修了 ・介護実践リーダー研修:1回開催、59名修了 ・認知症対応型サービス事業開設者研修:1回開催、14名修了 ・認知症対応型サービス事業管理者研修:1回開催、57名修了 ・小規模多機能型サービス等計画作成担当者研修:1回開催、35名修了 ・介護実践リーダーフォローアップ研修:1回開催、16名修了 ・介護基礎研修:3回開催、78名修了 <p>○地域の認知症予防リーダー養成事業 (認知症の人と家族の会鳥取県支部委託)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・養成講座:2回開催、85名修了 ・養成講座フォローアップ研修:2回開催、18名修了 ・普及大会:1回開催、180名参加 				

④若年性認知症支援事業(認知症の人と家族の会鳥取県支部委託)

若年性認知症サポートセンターを運営し本人及び家族等の相談窓口となるほか、就労・医療支援、当事者の集いを開催した。また、関係機関による自立支援ネットワーク会議の開催、広報誌の発行、普及啓発のための研修を行った。

〈実績〉

- 若年性認知症ネットワーク会議:3回開催、委員14名(西部)・13名(東部)・6名(中部)出席
- 若年性認知症に係る啓発・情報提供のための広報誌:年1回、1,000部発行
- 若年性認知症研修会:3/15を予定し、参加案内・申込受付を行っていたが、コロナウイルス感染防止のため中止。
- 若年性認知症サポートセンターの運営
 - ・開設時間:月曜日～金曜日、午前10時～午後6時(土日・祝日、時間外は携帯電話で対応)
 - ・電話相談:516件・面接相談:529件
 - ・本人と家族の集い:年17回開催
- 人事・労務担当者向け若年性認知症セミナー:15回開催、541名受講

⑤認知症相談・支援強化事業(認知症の人と家族の会鳥取県支部委託)

認知症コールセンターを運営し各種相談に応じるほか、市町村の家族の集いの意見交換会を開催した。

〈実績〉

- 認知症コールセンターの運営
 - ・開設時間:月曜日～金曜日、午前10時～午後6時(土日・祝日、時間外は携帯電話で対応)
 - ・出前相談:毎月2回(第2、第4火曜日)、米子市オレンジカフェわだや小路
 - ・相談件数:2,968件
- 市町村における認知症介護家族のつどいの支援
 - ・認知症介護家族のつどい運営意見交換会:1回開催、35名参加

⑥認知症地域支援施策推進事業

認知症の先進的な地域支援体制の構築に係る取組について、市町村と情報共有を行った。また、認知症地域支援推進員の積極的な取組を支援するため、県内外の活動事例を紹介し、意見交換をする市町村認知症連絡会:3/12を予定していたが、コロナウイルス感染防止のため中止。

イ 令和元年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点

平成31年度から、認知症の本人の視点を生かした施策に取り組むため、認知症の本人が集い、自らが必要とすることなどを主体的に語り合う「本人ミーティング」を2カ月に1回開催した。

ウ 成果及び効果

- ①認知症サポーターの拡大に向けた取組により、当県のサポーターが総人口に占める割合は全国で3位となっている。当県のサポーター数 99,539人 総人口に占める割合:17.857%(令和2年3月31日現在)
- ②認知症疾患医療センター・認知症サポート医の活動や、医療関係者への研修により、認知症医療体制の充実を図ることができた。
- ③国の認知症介護研修体系に基づき、認知症介護基礎研修から指導者養成まで段階的な研修を実施することで、適切なケア・指導を実施しうる介護職員を養成することができた。
- ④若年性認知症サポートセンター・コーディネーター等の活動により、相談・就労支援等の充実を図ることができた。また、若年性認知症を正しく理解する機会の提供、相談できる体制づくりの充実を図ることができた。
- ⑤認知症コールセンターの活動により、認知症の相談・支援を強化するほか、市町村ごとの家族の集いの連携を図ることができた。
- ⑥本人ミーティングを実施し、地域における認知症の本人の社会参加や生きがいづくりを推進した。

エ 課題

少子高齢化の進展の中で、認知症自体を予防又は早期に発見し、長く健康に過ごすための取組がより重要となっている。そのためにも、引き続き認知症に関する正しい知識の普及や早期発見、受診を可能にするための医療と介護の連携体制の強化を図っていく必要がある。

また、若年性認知症はその多くが働き盛りで発症することにより、失業や子育ての悩み、経済的・精神的負担も大きく、高齢者の認知症に比べて社会的理解も乏しいことから、引き続き、若年性認知症に係る正しい知識の普及や理解の促進に努め、本人やその家族に対する支援体制をさらに充実する必要がある。

6 決算資料

一般会計(歳入)

(単位:円)

区分	科目	予算			現額		計	調定額 A	収入済額 B	不納欠損額 C	収入未済額 A-B-C	備考
		当初予算額	補正予算額	繰越事業費 繰越財源充当額	継続費及び繰越事業費 繰越財源充当額							
	行政財産使用料	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	民生手数料	2,102,000	△ 272,000	0	0	1,830,000	1,804,970	1,804,970	0	0	0	
	民生費国庫負担金	88,748,000	306,070,000	0	0	394,818,000	394,818,000	394,818,000	0	0	0	
	民生費国庫補助金	63,947,000	113,866,000	0	0	177,813,000	182,505,840	182,505,840	0	0	0	
	財産貸付収入	7,000	0	0	0	7,000	3,530,881	3,530,881	0	0	0	
	利子及び配当金	177,000	△ 24,000	0	0	153,000	120,052	120,052	0	0	0	
	物品売払収入	0	0	0	0	0	426,000	426,000	0	0	0	
	地域医療介護総合確保 基金繰入金	182,334,000	236,588,000	0	0	418,922,000	399,589,028	399,589,028	0	0	0	
	鳥取元気づくり推進基金 繰入金	720,000	0	0	0	720,000	337,561	337,561	0	0	0	
	介護保険財政安定化貸 付金元利収入	2,166,000	0	0	0	2,166,000	2,166,000	2,166,000	0	0	0	
	雑収入	200,000,000	15,768,000	0	0	215,768,000	212,680,832	209,502,832	0	0	3,178,000	
	繰越金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	合計	540,201,000	671,996,000	0	0	1,212,197,000	1,197,979,164	1,194,801,164	0	0	3,178,000	

一般会計(歳出)

(単位:円)

区分	科目	予算		現額		計 A	決算額 B	決算額の内訳		翌 繰 越 額 C	差引増減額 A-B-C	備考
		当初予算額	補正予算額	継続費 繰越	及び 繰越 事業 費 繰 越 額			本 庁 額	出 納 機 関 額			
	社会福祉総務費	26,009,000	97,792,000	0	△ 401,060	123,399,940	120,078,612	120,078,612	0	0	3,321,328	
	老人福祉費	9,838,839,000	995,988,000	0	0	10,835,228,060	10,688,746,422	10,688,460,923	285,499	104,955,000	41,526,638	
	合計	9,864,848,000	1,093,780,000	0	0	10,958,628,000	10,808,825,034	10,808,539,535	285,499	104,955,000	44,847,966	

7 事業別実施状況調べ

(単位:円)

事業名	当初予算額	補正予算額	支出済額	翌年度繰越額	差引残額	執行率	事業の計画と実績・成果 ・不用額・執行率																																
(社会福祉総務費)																																							
外国人受入事業所に対する学習強化支援事業	1,641,000	△ 1,177,000	140,080	0	323,920	9%																																	
<p>介護業界へ外国人労働者等の参加が見込まれることを受け、介護サービス水準の確保・向上を図るとともに、受入施設のサポート体制強化を図った。</p> <p><概要></p> <p>(1) 学習強化支援事業補助金 ア 概要：介護サービスの質の維持・向上を図るとともに、受入後の実習先の支援体制を構築することを目的に、外国人実習生等を受け入れる事業所等に対し、規定カリキュラム以上の介護技術・日本語研修導入等の支援を行った。 イ 補助額：106,590円 ウ 補助対象者：社会福祉法人こうほうえん（対象者：8名）</p> <p>(2) 受入導入セミナー開催 ア 対象者：介護サービス事業所等 イ 日時：令和元年8月23日 10:00～12:00 ウ 場所：新日本海新聞社中部本社ホール エ 参加者：16名 オ 概要：外国人技能実習制度等の概要と外国人材の活用について 等</p> <p><不用額発生理由> 学習強化支援事業補助金について、申請を見込んだ事業者の外国人受入の延期等により、令和元年度中の補助金の活用が困難になったため。</p>																																							
介護福祉士等修学資金貸付事業	4,565,000	98,023,000	101,619,121	0	968,879	2226%																																	
<p>(1) 平成24年度介護福祉士等修学資金貸付事業（平成25年度で貸付終了）（委託先：鳥取県社会福祉協議会） 県内の介護福祉士及び社会福祉士の養成確保を図るため、15名の介護福祉士等に修学資金の貸付を行った。 現在は、委託事業事務費（人件費及び事務処理経費）として委託料の支払いを実施。 ・委託料確定額 217,121円 ・償還完了 2名 ・償還猶予 13名 ・令和元年度返還額 0千円</p> <p>(2) 平成27年度介護福祉士修学資金等貸付事業（平成28～令和元年度新規貸付）（補助対象：鳥取県社会福祉協議会） 介護福祉士等の資格取得を目的として養成施設等に進学する学生に対し、無利子で貸付けを行う。 （令和元年度貸付者数） ・介護福祉士養成施設貸付人数 41名 ・社会福祉士養成施設貸付人数 1名 ・実務者研修施設 9名 ・再就職準備金 3名</p>																																							
「働く介護家族応援！」企業内研修開催支援事業	3,200,000	△ 1,605,000	1,481,598	0	113,402	46%																																	
<p>働く家族が介護不安から介護離職してしまわないよう、職場を通し介護サービスや制度に関する情報提供をするとともに、介護者が働きやすいような意識醸成・環境改善を狙い、企業内研修の開催促進を図った。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">委託地区</th> <th rowspan="2">受託者</th> <th>企業訪問</th> <th colspan="2">企業内研修</th> </tr> <tr> <th>訪問数/回</th> <th>開催数/回</th> <th>受講者数/人</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">東部地区</td> <td>社会福祉法人れしーぶ</td> <td>20</td> <td>10</td> <td>82</td> </tr> <tr> <td>介護労働安定センター鳥取支部</td> <td>40</td> <td>10</td> <td>183</td> </tr> <tr> <td>中部地区</td> <td>受託事業者なし</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>西部地区</td> <td>メディカ・サポート株式会社</td> <td>20</td> <td>10</td> <td>154</td> </tr> <tr> <td colspan="2">合計</td> <td>80</td> <td>30</td> <td>419</td> </tr> </tbody> </table> <p><不用額発生理由> 受託事業者の応募が見込みより少なく、委託料支出が低減したため。</p>								委託地区	受託者	企業訪問	企業内研修		訪問数/回	開催数/回	受講者数/人	東部地区	社会福祉法人れしーぶ	20	10	82	介護労働安定センター鳥取支部	40	10	183	中部地区	受託事業者なし	-	-	-	西部地区	メディカ・サポート株式会社	20	10	154	合計		80	30	419
委託地区	受託者	企業訪問	企業内研修																																				
		訪問数/回	開催数/回	受講者数/人																																			
東部地区	社会福祉法人れしーぶ	20	10	82																																			
	介護労働安定センター鳥取支部	40	10	183																																			
中部地区	受託事業者なし	-	-	-																																			
西部地区	メディカ・サポート株式会社	20	10	154																																			
合計		80	30	419																																			
(主)「介護で働きたい！」を増やす参入促進事業	15,458,000	(△ 401,060) 2,551,000	15,693,013	0	1,914,927	102%	(△401,060)は管理運営費へ流用																																
主な事業に関する調べのとおり																																							

(単位：円)

事業名	当初予算額	補正予算額	支出済額	翌年度繰越額	差引残額	執行率	事業の計画と実績・成果 ・不用額・執行率
高齢者福祉施設放射線防護対策事業	1,145,000	0	1,144,800	0	200	100%	
<p>平成26年度に国の原子力災害対策施設整備費補助金を活用して整備した放射線防護設備（フィルタリングシステム及び非常用発電機）の保守点検に要する費用に対して補助金を交付した。</p> <p><概要></p> <ul style="list-style-type: none"> ○補助事業者 医療法人真誠会 社会福祉法人真誠会 ○補助対象施設 弓浜ホスピタウン（米子市大崎） ※医療法人及び社会福祉法人が共有している施設 ○補助金交付額 1,144,800円 ○補助率 10/10（財源：国10/10） 							
(配当替分) 高齢者福祉施設放射線防護対策事業	253,000,000	0	249,480,000	0	3,520,000	99%	
<p>島根原子力発電所の災害に備えて実施する放射線防護対策設備工事に対して補助金を交付した。H29からの事故繰越。</p> <p><概要></p> <ul style="list-style-type: none"> ○補助事業者 医療法人真誠会 ○補助対象施設 介護老人保健施設ゆうとびあ（米子市河崎） ○補助金交付額 249,480,000円 ○補助率 10/10（財源：国10/10） 							
目計	26,009,000	97,792,000	120,078,612	0	3,722,388	462%	

(老人福祉費)							
介護保険運営負担金事業	8,551,527,000	(△ 383,000) 287,991,000	8,837,144,838	0	1,990,162	103%	(△383,000)は介護保険料・利用者負担軽減事業へ流用
<p>○介護保険給付費負担金 市町村(特別区、一部事務組合及び広域連合を含む。)の介護保険事業運営の安定化を図るため、介護給付費の一部を交付した。 交付先：各市町・広域連合、補助額：8,393,136,546円（うち過年度精算分1,416,249円）</p> <p>○地域支援事業交付金 市町村(特別区、一部事務組合及び広域連合を含む。)の介護保険事業運営の安定化を図るため、地域支援事業費の一部を助成した。 交付先：各市町・広域連合、補助額：439,815,878円</p> <p>○介護保険財政安定化基金 見込みを上回る介護給付費増や保険料の収納不足により、市町村の介護保険特別会計に赤字が出ることとなった場合に、一般財源から財政補填をしないよう、市町村に対して資金の交付・貸付を行うため、平成12年度に各都道府県に設置された。 令和元年度 貸付なし ○基金残額640,790,074円（うちR1基金運用益70,818円）</p> <p><不用額発生理由> 令和元年度鳥取県地域支援事業交付金において、交付申請額が見込みより下回ったため。 【2月補正後予算額】441,207,000円 ※各保険者への所要額調査をもとに要求。 【変更交付申請額】439,815,878円</p>							

(単位：円)

事業名	当初予算額	補正予算額	支出済額	翌年度繰越額	差引残額	執行率	事業の計画と実績・成果 ・不用額・執行率
介護保険利用者負担軽減事業	116,286,000	(383,000) 5,509,000	121,894,220	0	283,780	105%	(383,000)は介護保険運営負担金事業から流用

事業区分	事業内容	概要
介護保険料軽減強化事業	市町村が行う介護保険1号被保険者の世帯非課税(所得段階、第1段階)区分の者の保険料軽減事業給付費の一部を交付した。(保険料軽減額の1/4)	交付先：各市町及び南部箕蚊屋広域連合、補助額：100,520,220円(うち、過年度精算分401,979円)
社会福祉法人等による利用者負担軽減制度	①社会福祉法人等サービス利用者負担額軽減事業	サービス提供事業者である社会福祉法人等が、低所得者に対する利用者負担及び食費・宿泊費等を軽減した場合に、事業者に補助する市町村に助成 実施市町村：16市町、1広域連合 負担割合：国 1/2、県 1/4 市町村 1/4 補助額：21,314,000円
	②離島等における訪問介護利用者負担軽減事業	社会福祉法人等が特別地域加算により利用料が15%増額となる低所得者の利用者負担を軽減(10%→9%)した場合に、社会福祉法人等に補助する市町村に助成 実施市町村：1町 負担割合：国 1/2、県 1/4 市町村 1/4 補助額：60,000円

介護保険円滑推進事業	11,295,000	(△1,378,890) 0	9,088,147	0	827,963	80%	(△1,378,890)は管理運営費へ流用
------------	------------	-------------------	-----------	---	---------	-----	-----------------------

介護保険制度の定着化及び円滑化を図るため、介護保険制度の周知、サービス提供事業者等への指導を行った。

事業	内容	概要
認定調査員、認定審査委員、主治医研修の開催	要介護認定の適正化を維持・推進するために要介護認定に関わる者に対して研修会を開催した。	<ul style="list-style-type: none"> ○認定調査員研修会の開催 <ul style="list-style-type: none"> ・新任研修会 <ul style="list-style-type: none"> 平成31年4月17日(東部) 平成31年4月13日(中部) 平成31年4月20日(西部) ・現任研修会 <ul style="list-style-type: none"> 令和元年8月5日 ○認定審査委員会研修会の開催 <ul style="list-style-type: none"> ・新任研修会 <ul style="list-style-type: none"> ※隔年実施のため、当該年度は実施せず ・現任研修会 <ul style="list-style-type: none"> 令和元年8月4日 ○主治医研修会の開催 (事業委託先の東、中、西部医師会が実施) <ul style="list-style-type: none"> ・東部 <ul style="list-style-type: none"> (第1回)令和元年8月23日(第2回)令和元年12月20日 ・中部 <ul style="list-style-type: none"> (第1回)令和元年8月23日(第2回)令和2年1月15日 ・西部 <ul style="list-style-type: none"> (第1回)令和元年11月1日(第2回)令和元年11月8日
介護保険システムの改修・管理運営費	介護サービス事業者の情報について、各保険者との情報共有を可能とするクラウドシステムに移行するための改修を行った。	○クラウド化改修 <ul style="list-style-type: none"> ・改修委託先：㈱佐賀電算センター ・契約金額：2,482,920円 ・契約期間：令和元年6月20日～令和元年8月30日
国民健康保険団体連合会補助金	・国民健康保険団体連合会(以下「国保連」)が行う介護苦情処理業務に対する補助金 ・国保連への介護給付適正化業務(縦覧点検・医療情報突合処理業務)実施補助金	<ul style="list-style-type: none"> ○苦情処理業務 <ul style="list-style-type: none"> ・介護サービスに関する苦情相談対応 ・苦情処理委員会の開催 ○縦覧点検業務の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・過誤件数 310件 ・過誤額 16,030,206円 ○突合点検業務の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・過誤件数 918件 ・過誤額 16,995,818円

(単位：円)

事業名	当初予算額	補正予算額	支出済額	翌年度繰越額	差引残額	執行率	事業の計画と実績・成果 ・不用額・執行率
介護職員向け研修・職場環境向上事業	39,971,000	(△168,115) 138,000	34,611,049	0	5,329,836	87%	(△168,115)は管理運営費へ流用
事業区分	事業内容		概要				
介護支援専門員研修事業	介護支援専門員(ケアマネジャー)の質の向上及び研修受講者の負担軽減を図るため、研修実施機関である鳥取県社会福祉協議会に対し研修経費を助成する。		<ul style="list-style-type: none"> ・実務研修 ・更新研修 ・主任研修 ・主任更新研修 補助額：11,952,746円				
介護支援専門員レベルアップ事業	介護支援専門員研修の企画会議や意見交換会の実施を鳥取県社会福祉協議会に委託し実施する。		<ul style="list-style-type: none"> ・介護支援専門員研修の企画・立案を行うための介護支援専門員支援会議等の設置 ・圏域別意見交換会の開催 委託料：1,368,335円				
初任段階介護支援専門員支援事業	介護支援専門員の質の向上を図るため、初任段階の介護支援専門員に対して、知識と経験のある主任介護支援専門員を支援員として派遣するとともに、不安事項を解消できるようなマニュアルを作成する際に係る必要経費を補助する。		<ul style="list-style-type: none"> ・同行支援 主任介護支援専門員の派遣 12回(4事業所×各3回) ・初任段階介護支援専門員向けマニュアル作成検討会議 3回実施 補助額：2,175,000円				
介護職員等の喀痰吸引等研修事業	介護関係施設・事業所(特別養護老人ホーム、通所介護等)において、医師、看護師等医療関係者と連携の下、喀痰吸引等の医療的なケアが必要な高齢者等に対して、安全に喀痰吸引等の行為が行うことができる介護職員等を養成するための研修を実施する。		①介護職員等に対する喀痰吸引等研修(※委託業務) <ul style="list-style-type: none"> ア 基本研修 <ul style="list-style-type: none"> 委託先：(福)こうほうえんほか2法人 (基本研修修了者：55名、実地研修修了者：48名) イ 実地研修 <ul style="list-style-type: none"> 委託先：(福)こうほうえん 基本研修修了者で実地研修未受講の者を対象に実地研修を実施。(修了者：89名) ②喀痰吸引等研修指導看護師等研修 <ul style="list-style-type: none"> 介護施設等に勤務する医師、保健師、看護師、助産師(准看護師を除く)で、臨床等で3年程度の実務経験を有する者を対象に、喀痰吸引等に関する制度、実務手順等の講義・演習を実施し、喀痰吸引研修の指導者を養成。(受講者：30名) 				
介護ロボット導入支援事業	介護従事者の身体的負担の軽減や業務の効率化に資するため、介護事業所が介護環境の改善のために整備する介護ロボットの購入費について助成を行う。(1/2を補助(上限：1機器あたり30万円))		<ul style="list-style-type: none"> ・交付実績：9事業所38機器に助成 ・導入機器：センサー付離床ベッド、コミュニケーションロボット等 				
ICT導入支援事業	介護事業者の業務改善の取組を支援するため、事業所が導入するタブレット端末や業務改善に資する介護ソフトの購入費について助成を行う。(1/2を補助(上限：1事業所あたり30万円))		<ul style="list-style-type: none"> ・交付実績：6事業所に助成 ・導入機器：タブレット端末、介護記録から請求業務まで一気通貫機能を有する介護ソフト等 				
介護職員の事業所全体レベルアップ事業	介護事業所を対象に、介護職員の知識・技術の向上、全体のレベルアップを図るため、介護福祉士養成施設から指導者を派遣する。		<ul style="list-style-type: none"> ・派遣回数：24回 ・受講者数：約522名 ・研修内容 <ul style="list-style-type: none"> 認知症のケア、虐待防止、介護職員の職業倫理、介護職員のメンタルヘルス他 				
介護報酬処遇改善加算取得対策事業	介護職員に対する処遇改善や離職防止を図るため、処遇改善加算を取得していない介護事業者等に対し、取得のための研修会を開催		<ul style="list-style-type: none"> ・開催日時 令和2年1月29日 ・内容 <ul style="list-style-type: none"> 介護職員処遇改善加算の制度概要や、加算取得に必要な事業計画書、実績報告等の作成上の留意点等について説明 				
介護サービスの質の向上支援事業	県内の介護サービスの質の向上を図るため、介護事業所等が実施する介護サービスの質の向上を目的とした全国規模の取組に対し、必要経費を補助する。		認知症、食事、入浴、排泄、看取り、口腔ケア、国際交流分野7分野における介護実技について審査・評価するコンテストの開催支援。 <ul style="list-style-type: none"> ・補助額：2,000,000円 				
若手従事者のための介護の未来創造研修事業	県内の若手介護従事者のモチベーション向上と資質向上を図り、人材定着につなげるための研修会を開催する。		主に採用1～3年目の介護職員等を対象に、モチベーション向上や業界内のネットワークづくりをテーマとした研修会を、東中西部で各1回開催 <ul style="list-style-type: none"> ・委託料：765,962円 				

(単位：円)

事業名	当初予算額	補正予算額	支出済額	翌年度繰越額	差引残額	執行率	事業の計画と実績・成果・不用額・執行率
軽費老人ホーム運営費補助事業	721,283,000	△ 8,056,000	700,369,000	0	12,858,000	97%	

軽費老人ホームのサービスの提供に要する費用について、法人が基準に基づき減免した入所者負担の利用料(事務費)について助成した。

軽費老人ホーム運営費補助金

施設名	定員(人)	入所延人(人)	補助金額(千円)
軽費A型玉真園	80	861	63,498
軽費A型里久の里	50	600	58,680
軽費A型岩井長者寮	50	485	57,208
軽費A型福原荘	50	561	67,240
ケアハウスよなご幸朋苑	60	717	35,788
ケアハウスなんぶ幸朋苑	50	596	10,923
ケアハウスさかい幸朋苑	50	556	6,215
ケアハウスひまわり昭和町	30	359	27,581
ケアハウスすこやか	50	593	34,118
ケアハウスみどり園	50	533	34,922
ケアハウス第2みどり園	30	325	24,700
ケアハウス三喜苑	15	177	17,130
ケアハウ斯拉ボム苑	30	321	27,023
ケアハウスうつぶき	20	240	29,284
ケアハウス倉吉スターガーデン	26	309	31,311
ケアハウス関金インターケアハウス	30	340	27,671
ケアハウスル・サンテリオン	15	180	16,673
ケアハウスル・ソラリオン名和	15	180	17,975
ケアハウスいずみの苑	20	215	18,022
ケアハウスリバーサイド	50	572	20,126
ケアハウスかずき	30	349	26,261
ケアハウス大山のふもと	72	790	28,220
ケアハウスぬくもり	20	240	19,800
計23施設	893	10,099	700,369

<不用額発生理由>

一部の施設において、申請時に想定していた支出が減額または不執行となったため。

鳥取県地域医療介護総合確保基金造成事業(介護分野)	133,197,000	459,081,000	592,277,234	0	766	445%	
---------------------------	-------------	-------------	-------------	---	-----	------	--

(1) 事業の目的・概要

団塊の世代が75歳以上となる2025年に向けて、住み慣れた地域で安心して暮らせるよう地域包括ケアシステムの構築を進めるため、「介護サービス提供体制の整備促進」及び「介護従事者の確保対策」を行うべく、鳥取県地域医療介護総合確保基金(介護分)を造成した。

(2) 実施内容

①国から交付された「令和元年度医療介護提供体制改革推進交付金」及び県負担分を財源として、鳥取県地域医療介護総合確保基金(介護分)を造成した。

・造成額：592,228,000円(造成日：令和2年3月30日)

・負担額：国394,818,000円、県197,410,000円(負担割合：国2/3、県1/3)

②基金造成にあたっては都道府県計画を策定し、次の事業実施に取り組んだ。

(ア) 介護サービスの提供体制の整備促進

- ・地域密着型サービス施設等の整備への助成
- ・介護施設の開設準備経費等への支援
- ・既存の特別養護老人ホーム等のユニット化改修等支援事業

(イ) 介護従事者の確保対策

- ・参入促進
- ・資質の向上(地域包括ケアを支える専門職や地域の担い手等の養成も含む。)
- ・労働環境・処遇の改善
- ・基盤整備

(単位：円)

事業名	当初予算額	補正予算額	支出済額	翌年度繰越額	差引残額	執行率	事業の計画と実績・成果 ・不用額・執行率
地域包括ケア推進支援事業	12,453,000	(△2,426,335) 0	5,396,989	0	4,629,676	43%	(△2,426,335)は管理運営費へ流用

<事業の目的・概要>

団塊の世代が75歳以上となる2025（R7）年に向け、住み慣れた地域で暮らし続けられる「地域包括ケアシステム」（地域全体が高齢者を支える仕組みにより、必要に応じ在宅医療や介護、生活支援が提供される地域づくり）の構築が市町村に求められている。

県においては、市町村による「地域包括ケアシステム」の構築・深化に向けて、市町村や地域包括支援センターの取組を支援する。

①介護予防・日常生活支援総合事業の充実

○介護予防のための多職種連携強化

介護予防教室や住民主体の通いの場等において技術的助言を行う医療専門職等の派遣調整を行った。

【派遣実績】4市町（米子市、倉吉市、琴浦町、北栄町） 実施回数：延べ32回

○介護予防従事者研修

市町村や地域包括支援センター職員等を対象に、制度や介護予防の取組等を学ぶ研修会を開催した。

【開催実績】1回 参加者：延べ86人 ※開催予定回数2回のうち、1回は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

○市町村担当課長級トップセミナー

市町村担当課長級を対象に、地域包括ケアシステムの全体像や各個別事業の連携等を学ぶ研修会を開催した。

【開催実績】1回（午前の部、午後の部） 参加者：延べ173人

②地域包括支援センターの機能強化

地域包括支援センターの役割、業務、地域包括ケアシステムの概要などを学ぶ「初任者向け研修」、「リーダー向け研修」及び自立支援型のケアマネジメントについて学ぶ機会として「介護予防ケアマネジメント研修」を実施した。

【開催実績】3回 参加者：延べ76人

③地域ケア会議の充実

○専門職等の派遣事業

市町村における地域ケア会議の立ち上げや有効性を高めるための技術的助言を行う医療専門職等の派遣調整を行った。

【派遣実績】3町（智頭町、湯梨浜町、北栄町） 実施回数：延べ44回

○地域ケア会議運営に係る実務者研修

地域包括支援センター職員等を対象に、効果的な地域ケア会議運営等を学ぶ研修会を開催した。

【開催実績】1回（午前の部、午後の部） 参加者：延べ105人

④みんなでつくる地域の生活支援体制整備

○生活支援コーディネーター養成研修

生活支援コーディネーター等を対象に、協議体の立ち上げやコーディネーターの資質向上等に関する研修会等を開催した。

【開催実績】2回 参加者：延べ66人 ※そのほか、コーディネーター同士の情報交換会を開催（4回、延べ77人）

○支え合い支援活動創出のための市町村伴走支援

生活支援体制整備を進める上での課題等を抱える市町村を対象に、有識者をアドバイザーとして派遣するなどの支援

（講話や指導助言）を行った。

【派遣実績】5市町（鳥取市、米子市、境港市、北栄町、日吉津村） 実施回数：10回 参加者：延べ125人

○先進地視察バスツアー

市町村職員や生活支援コーディネーターを対象に、生活支援体制整備に関する先進自治体等の取組を視察した。

【実績】1回 視察先：NPO法人すけあい平田（鳥根県出雲市）ほか 参加者：23人（9市町村）

⑤在宅医療・介護連携の推進

○各圏域における在宅医療・介護連携の推進支援

各福祉保健局等において、市町村と医療・介護関係者との連携会議や多職種連携研修会等を開催した。

【開催実績】連携会議1回 参加者：102人

研修会4回 参加者：延べ245人

※開催予定回数5回のうち、1回は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

⑥高齢者施設における口腔機能向上推進事業

○連絡会議の開催

具体的取組内容を検討するため、関係者で組織する連絡調整会議を各圏域で開催した。

【開催実績】3回（各圏域1回） 参加者：計25人

○口腔健診の実施と実施後フォロー

施設入所者を対象とした歯科医師等の派遣による口腔健診のほか、健診所見者への口腔ケアや、施設職員への個別指導を実施した。

【取組実績】口腔健診5施設（派遣者延べ22人、健診対象者計232人）、所見者フォロー5施設（派遣者延べ7人、フォロー対象者計47人）

○講習会の開催

施設職員等に対し、口腔ケアに資する専門知識を学ぶための講習会を開催した。

【開催実績】3回（各圏域1回） 参加者：延べ58人

⑦「ご当地体操交流大会」の開催

生活習慣病予防や介護予防の普及啓発のために、市町村が考案した介護予防に資するご当地体操等の交流大会を開催した。

【開催実績】2回 参加者数：延べ162人

⑧介護職員のための看取り研修事業

介護職員に対する「看取りの心得」や「看取り技術」の研修を行うとともに、精神的負担のケア（グリーフケア）についての講演を行った。

【開催実績】1回 参加者：111人

<不用額発生理由>

新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴う研修事業等の中止のほか、市町村等が専門職の派遣を希望する回数が見込みを下回ったことなどによる。

(単位:円)

事業名	当初予算額	補正予算額	支出済額	翌年度繰越額	差引残額	執行率	事業の計画と実績・成果 ・不用額・執行率
鳥取県地域医療介護総合確保基金(施設整備)補助金	87,369,000	245,807,000	221,215,000	104,955,000	7,006,000	253%	

地域医療介護総合確保基金を活用し、介護施設等の整備について助成した。

事業区分	事業内容	概要
①地域密着型サービス等整備助成事業	可能な限り住み慣れた地域で安心して暮らせるよう地域密着型サービス施設・事業所等の整備を行う事業者に対し、市町村を通じて支援を行う。	・小規模多機能型居宅介護事業所 1市1町 2施設 ・認知症高齢者グループホーム 1市1町 3施設
②介護施設等の施設開設準備経費等支援事業	介護施設の円滑な開設のため、施設の開設準備に要する経費について支援を行う。	・小規模多機能型居宅介護事業所 1市1町 2施設 ・認知症高齢者グループホーム 1市1町 3施設 ・介護医療院への転換 1事業者1施設
③既存の特別養護老人ホーム等のユニット化改修等支援事業	特別養護老人ホーム等の多床室のプライバシー保護のための改修に要する経費等について支援を行う。	・プライバシー改修 1事業者施設(4床) ・介護医療院への転換 1事業者1施設

<不用額発生理由>
実施事業者の事業費の減

鳥取県地域医療介護総合確保基金(介護従事者確保)補助金	27,000,000	△ 10,303,000	16,275,000	0	422,000	60%	
-----------------------------	------------	--------------	------------	---	---------	-----	--

平成27年度に造成した地域医療介護総合確保基金を活用し、介護従事者の確保、地域包括ケアを支える専門職や地域の担い手等の養成を行うため、介護の事業者団体、職能団体及び市町村等の取組を支援する。

<参入促進>

「地域住民や学校の生徒に対する介護や介護の仕事の理解促進事業」、「介護未経験者に対する研修支援事業」の取組に対し、補助金を交付した。

- ・事業数 4件
- ・交付確定額 743千円

<資質の向上>

「多様な人材層に対する介護人材キャリアアップ研修支援事業」、「潜在介護福祉士の再就業促進事業」、「権利擁護人材育成事業」、「介護予防の推進に資するOT、PT、ST指導者育成事業」の取組に対し、補助金を交付した。

- ・事業数 16件
- ・交付確定額 11,734千円

<労働環境・処遇の改善>

「新人介護職員に対するエルダー、メンター制度等導入支援事業」、「管理者等に対する雇用管理改善方策普及・促進事業」の取組に対し、補助金を交付した。

- ・事業数 2件
- ・交付確定額 3,798千円

(単位：円)

事業名	当初予算額	補正予算額	支出済額	翌年度繰越額	差引残額	執行率	事業の計画と実績・成果 ・不用額・執行率
いきいきシニア人生充実応援事業	73,288,000	(△288,450) △2,364,000	68,405,803	0	2,229,747	93%	(△288,450)は管理運営費へ流用

【いきいき高齢者クラブ活動支援補助金】

各市町村老人クラブ連合会、単位老人クラブ及び県老人クラブ連合会への助成を通して、活力ある長寿社会づくりを推進する事業の積極的な実施を促した。

- ・市町村老人クラブ連合会、単位老人クラブに対する補助 補助率：国1/3、県1/3、市町村1/3
- ・県老人クラブ連合会に対する補助 補助率：国1/3、県1/3、県老人クラブ連合会1/3

【とっとりいきいきシニアバンク「生涯現役」運営議場】

「とっとりいきいきシニアバンク『生涯現役』」を運用し、資格、特技、技能を持つ高齢者を発掘し、その活動機会を提供した。

- ・とっとりいきいきシニアバンク事業委託（鳥取県社会福祉協議会）11,985,919円
実績 登録者数2,487人（累計：4,741人）、活動件数1,727件（累計3,109件）
- ・広報（新聞） 437,400円（年2回）

【ねんりんピック開催準備事業】

〈事業内容〉

令和5年度（第36回）ねんりんピック鳥取県大会開催に向けて県民の気運を醸成するため、大会の周知・浸透を図るためのパネルを作成した。

〈不用額発生理由〉

開催種目ごとの開催地決定に向けて、準備会議のメンバーである市町村と競技団体から個別に要望を聞き取る必要があり、準備会議開催に代えて、全市町村と開催を希望する全競技団体を訪問し、個別に聞き取りを行ったため。

【明るい長寿社会づくり推進事業】

〈事業内容〉

○明るい長寿社会づくり推進事業委託

高齢者によるスポーツ・文化の全国大会である全国健康福祉祭（ねんりんピック）の選手選考会や選手派遣、情報発信を行い、元気な高齢者の活動を促進した。

【委託先】県社会福祉協議会（委託料：14,381,520円）

	因伯シルバー大会の開催	全国健康福祉祭への選手派遣	情報発信
委託料	2,025,844円	5,103,500円	512,523円
期日	令和元年5月10日～5月23日	令和元年11月9日～11月12日	発行回数3回
参加者	1,263人	136人	発行部数4千部
種目	12種目	21種目	
事業内容	第32回全国健康福祉祭和歌山大会の選手選考会を行った。	第32回全国健康福祉祭和歌山大会へ選手等を派遣した。	高齢者の活動に係る情報誌を発行、配布した。

○シニア作品展の開催

県内高齢者を対象とした作品展を開催し、特技、趣味活動の成果を発表する場を設けた。

- 【委託先】株式会社パレット（委託料：1,309,000円）
- ・期日：令和元年9月20日（金）～9月28日（土）
 - ・会場：倉吉博物館
 - ・展示数：66点（日本画、洋画、彫刻・工芸、書、写真）
 - ・来場者数：188名

○鳥取県高齢者健康運動会事業費補助金（6,183,814円）

高齢者に適したスポーツの運動会開催を補助することで、高齢者の健康、仲間づくりを促進した。

地区	東部	中部	西部
日にち	11月7日	9月27日	10月29日
参加者数	574人	413人	858人

福祉施設版共生ホーム推進事業	2,000,000	0	2,000,000	0	0	100%
----------------	-----------	---	-----------	---	---	------

福祉サービス施設を拠点として高齢者、障がい者、児童等の地域住民が集う共生ホームの整備に必要な経費を補助する。

(1) 鳥取ふれあい共生ホーム整備事業補助金

高齢者、障がい者、児童など地域の誰もが集える居場所である「鳥取ふれあい共生ホーム」（当課担当は共生サービス型（事業所+事業所）と、事業所併設型（事業所+地域住民）の整備に対する支援を行った。

（事業実績）

交付確定件数2件（交付確定額 1,000,000円×2箇所＝2,000,000円）

(単位：円)

事業名	当初予算額	補正予算額	支出済額	翌年度繰越額	差引残額	執行率	事業の計画と実績・成果・不用額・執行率																
元気なシニアパワーを地域で支える仕組みづくり事業	5,257,000	8,096,000	11,886,724	0	1,466,276	226%																	
<p>地域包括ケアシステムの充実が急務となる中、持続可能な社会を構築するため、介護関係団体、市町村、シニアバンク等と連携し、介護施設・事業所の人材を補う介護助手の養成、及び市町村が実施する介護予防・生活支援サービスの担い手・サポーターの創出により、元気シニア等が介護分野で活躍できる環境を整備する。</p> <p>(1) 介護助手の養成 介護施設等の業務の機能分化を行い、介護施設での就労を希望する元気なシニア等を公募し、専門職の周辺補助業務を担ってもらうことにより、介護福祉士や専門職が身体介護等の専門的業務に専念できる環境を整え、もって介護職員の負担軽減と離職防止を推進した。 〈実施団体〉鳥取県社会福祉協議会、鳥取県老人保健施設協会 〈実績〉介護助手制度導入の支援 92事業所 介護助手の人数 149名</p> <p>(2) 介護助手に係る調査研究事業 介護助手導入による効果、更なる広がりや継続的な実施に必要な取組について、介護助手を導入する介護事業所が実施する取組を支援するとともに、各事業所の取組等を分析、検証し、成果をまとめることにより、介護人材の参入環境の整備、定着等を推進した。 〈実施団体〉医療法人養和会 社会福祉法人賛幸会 社会福祉法人こうほうえん</p> <p>(3) 介護予防・生活支援サポーターの創出 市町村が住民を対象としたポイント制による介護予防や生活支援の「サポーター」や「担い手」を新規又は既存制度の拡充をすることにより養成する場合に、その運営経費を補助した。 〈実績〉新規 1件 (境港市)</p>																							
(主) 認知症サポートプロジェクト事業	54,604,000	(△ 691,940) 0	50,801,978	0	3,110,082	93%	(△691,940)は管理運営費へ流用																
主な事業に関する調べのとおり																							
高齢者虐待防止推進事業	1,732,000	(△ 100,684) 0	1,552,966	0	78,350	90%	(△100,684)は管理運営費へ流用																
<p>〈事業内容〉</p> <p>○高齢者の権利擁護相談支援事業 困難事例を抱えた地域包括支援センター等からの相談に対し、弁護士や社会福祉士等専門家チームをケース検討会に派遣した。また、高齢者虐待防止研修会へ講師を派遣した。</p> <p>委 託 先：とっとり東部権利擁護支援センター、成年後見ネットワーク倉吉、権利擁護ネットワークほうき 電話相談件数：31件 面接相談件数：5件(延べ5名派遣) ケース検討会：14件(延べ25名派遣) 研 修 会：12件、303名参加</p> <p>○鳥取県高齢者虐待対応現任者研修会 ・養護者による高齢者虐待対応担当者研修会 高齢者虐待対応現任者の現場対応力の向上を図ることを目的に、包括支援センターや市町村職員を対象に研修会を実施した。</p> <p>日 時：令和元年6月19日、6月27日、7月3日 会 場：倉吉体育文化会館 出 席 者：27名(市町村10名、地域包括支援センター17名)</p> <p>・養介護施設従事者による高齢者虐待対応担当者研修会</p> <p>日 時：令和元年7月8日、7月17日 会 場：倉吉体育文化会館 出 席 者：23名(県2名、市町村10名、地域包括支援センター8名、その他3名)</p> <p>○施設職員向け高齢者虐待防止・権利擁護研修会の開催 介護施設等における一般職員を対象として、高齢者虐待防止や高齢者の権利擁護に関する研修を行うことにより、介護施設等職員の資質向上と意識啓発を図った。</p> <p>日 時：令和2年2月4日 会 場：エキバル倉吉 出 席 者：34名</p> <p>○管理者等責任者向け高齢者虐待防止・権利擁護研修会 介護施設等において指導的立場にある者を対象として、高齢者虐待防止や高齢者の権利擁護に関する研修を行うことにより、介護施設等職員の資質向上と意識啓発を図った。</p>																							
<table border="1"> <thead> <tr> <th>地区</th> <th>日時</th> <th>会場</th> <th>出席者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>東部</td> <td>令和2年2月6日</td> <td>鳥取県庁講堂</td> <td>74名</td> </tr> <tr> <td>西部</td> <td>令和2年2月5日</td> <td>米子コンベンションセンター</td> <td>42名</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>116名</td> </tr> </tbody> </table>								地区	日時	会場	出席者数	東部	令和2年2月6日	鳥取県庁講堂	74名	西部	令和2年2月5日	米子コンベンションセンター	42名	計	-	-	116名
地区	日時	会場	出席者数																				
東部	令和2年2月6日	鳥取県庁講堂	74名																				
西部	令和2年2月5日	米子コンベンションセンター	42名																				
計	-	-	116名																				
<p>〈成果〉 高齢者虐待対応の責務・必要性を認識することができ、対応機関との連携を図った。</p>																							

(単位：円)

事業名	当初予算額	補正予算額	支出済額	翌年度繰越額	差引残額	執行率	事業の計画と実績・成果・不用額・執行率
福祉保健部（長寿社会課）管理運営費	1,017,000	(5,455,474) 0	6,345,674	0	126,800	624%	「介護で働きたい！」を増やす参入促進事業（401,060） 介護保険円滑推進事業（1,378,890）、介護職員向け研修・職場環境向上事業（168,115）、地域包括ケア推進支援事業（2,426,335） いきいきシニア人生充実応援事業（288,450） 認知症サポートプロジェクト（691,940） 高齢者虐待防止推進事業（100,684）からそれぞれ流用
長寿社会課の管理運営に係る経費である。							
ショッピングリハビリ×UDタクシー利用促進事業	500,000	△ 450,000	0	0	50,000	0%	
<p>市町村等の介護予防・日常生活支援総合事業の中で、介護予防活動とUDタクシーを活用した高齢者の買い物支援を一体的に行う取組を支援する。（令和元年度は実施市町村なし）</p> <p>（1）補助対象者：市町村及び南部箕蚊屋広域連合 （2）補助率：2分の1 （3）補助上限額：1回あたり5千円×事業実施回数</p> <p><不用額発生理由> 全市町村を訪問し事業説明を行ったが、申請がなかったため。</p>							
療養病床転換支援事業	0	6,996,000	6,996,000	0	0	-	
<p>【概要】 医療法人アスピオス（施設名 鳥取産院）が有する医療療養病床を介護医療院に転換するために要する経費の一部を助成した。</p> <p>○財源 国10/27、県5/27、医療保険者12/27</p>							
とっとり方式認知症予防研究開発・普及事業	0	3,543,000	2,425,800	0	1,117,200	-	
<p>〈事業内容〉 【全体】 本県独自に開発した認知症予防プログラムの検証結果を公開し、「とっとり方式認知症予防プログラム」を全県展開するため、市町村等への導入支援や県民向け普及フォーラム等を行った。 ※本事業は日本財団との共同プロジェクトにより実施。 （平成28～令和元年度）</p> <p>【令和元年度事業】 （1）認知症予防プログラムの導入支援 各圏域及び市町村などで、地域包括支援センター等（医療・介護・行政関係者）を対象に医学的エビデンスを踏まえたプログラムの成果と実施方法に係る説明会等を実施。</p> <p>（2）認知症予防プログラム指導者の養成 プログラムの実効性を高めるため、プログラム指導者を養成し、導入をバックアップできるよう、各圏域及び市町村などで指導者養成のための研修会を開催。</p> <p>（3）タッチパネルの購入・貸出 各圏域ごとに1台配置し、市町村がスクリーニングに取り組める体制を整えることで、プログラムの普及を推進。</p> <p>（4）一般県民向け認知症予防プログラム普及フォーラム 市町村の介護予防教室に留まらず、介護施設や地域のサロン、老人クラブ、自治会活動等にも展開できるよう、一般県民向けの認知症予防プログラム普及フォーラムを開催し、プログラム導入の裾野を広げた。</p>							
福祉サービス事業者指定更新・指導監査体制強化事業	60,000	0	60,000	0	0	100%	
平成25年度から継続して西部総合事務所福祉保健局福祉企画課指導支援担当に介護保険及び障がい福祉サービス事業者の指定更新等の業務を行う 一般事務の非常勤職員1名を配置した。							
目計	9,838,839,000	995,988,000	10,688,746,422	104,955,000	41,125,578	109%	
合計	9,864,848,000	1,093,780,000	10,808,825,034	104,955,000	44,847,966	110%	

8 予備費の充用調べ

該当なし

9 繰越関係調べ

(1) 継続費通次繰越調べ

該当なし

(2) 繰越明許費調べ

(単位:円)

科目	事業名	金額	翌年度繰越額	左の財源内訳			繰越理由
				既収入特定財源 基金	未収入特定財源		
					地方債	一般財源	
老人福祉費	鳥取県地域医療介護総合確保基金(施設整備)補助金	333,176,000	104,955,000	0	0	0	地域密着型サービス施設の整備において、設計等に時間を要し、事業着手が遅延したことから、繰り越すもの
合計		333,176,000	104,955,000	0	0	0	

(3) 事故繰越調べ

該当なし

10 収入証紙取扱額調べ

有・無

11 現金の取扱状況

ア 現金取扱状況

該当なし

イ つり銭の状況

(令和2年3月31日現在)

つり銭の有無	無	つり銭の額(円)	0
--------	---	----------	---

12 財産に関する調べ

(1)公有財産
ア 土地

(令和2年3月31日現在)

行政・普通 財産の区分	施設名等	所在地	前年度末		本年度異動状況						本年度末		備考	
			面積(m ²)	価額(円)	増減別	異動日	面積(m ²)	価額(円)	増減理由	登記年月日	面積(m ²)	価額(円)		
														増加
普通財産	皆生尚寿 苑	米子市新開 1-5-15	8,997.27	102,496,000	増加	-	0	-	-	-	0	0	0	H30 民間へ売却
			4,836.74	49,500,321	増加	-	0	-	-	-	4,836.74	49,500,321		
			13,184.00	0	増加	-	0	-	-	-	13,184.00	0		
			13,341.07	144,853,000	増加	-	0	-	-	-	13,341.07	144,853,000		
計			40,359.08	296,849,321	減少	-	0	-	-	8,997.27	102,496,000	31,361.81	194,353,321	
合計			40,359.08	296,849,321	減少	-	0	-	-	8,997.27	102,496,000	31,361.81	194,353,321	

イ 建物

(令和2年3月31日現在)

行政・普通 財産の区分	施設名等	所在地	前年度末		本年度異動状況						本年度末		備考	
			面積(m ²)	価額(円)	増減別	異動日	面積(m ²)	価額(円)	増減理由	登記年月日	面積(m ²)	価額(円)		
														増加
普通財産	皆生尚寿 苑	米子市新開 1-5-15	4,410.01	95,294,000	増加	-	0	-	-	-	0	0	0	H30 民間へ売却
			4,410.01	95,294,000	減少	平成31年 4月1日	4,410.01	95,294,000	売却のため	-	-	0	0	0
合計			4,410.01	95,294,000	減少	平成31年 4月1日	4,410.01	95,294,000	売却のため	-	-	0	0	

ウ 山林 該当なし

エ 不動産売却 該当なし

オ 財産の交換 該当なし

カ 動産(船舶、浮標、浮棧橋、浮ドック、航空機) 該当なし

キ 物権 該当なし

ク 無体財産権(特許権、著作権、商標権、実用新案件等)

(ア) 異動状況

該当なし

(イ) 出願及び登録の状況

該当なし

(ウ) 活用の状況

該当なし

ケ 有価証券

該当なし

コ 出資による権利

(令和2年3月31日現在)

区 分	前年度末 (数量、金額)	本 年 度 中		本年度末 (数量、金額)	法 人 名	備 考
		増	減			
出えん金	円 30,000,000	円 0	円 0	円 30,000,000	社会福祉法人鳥取県社会福祉協議会	鳥取県ことぶき高齢者基金
合 計	30,000,000	0	0	30,000,000		

(2) 金券類の保有状況

ア 金券の保有状況

有 ・ 無

イ タクシーチケットの受払状況

(令和2年3月31日現在)

前年度末未使用枚数	本 年 度 中		本年度末	備 考
	購入枚数	使用枚数及び金額		
19枚	0枚	3枚 3,710円	15枚	うち一枚は書き損じのため破棄。破棄分を含めるとH31の消費枚数は4枚。

(3) 基金

(令和2年3月31日現在)

種 別	前年度末	本 年 度 中		本年度末	備 考
		増	減		
	円	円	円	円	
介護保険財政安定化基金	638,553,256	2,236,818	0	640,790,074	
地域医療介護総合確保基金(介護分)	148,613,191	592,277,234	423,747,971	317,142,454	
合 計	787,166,447	594,514,052	423,747,971	957,932,528	

(4) 債権

(令和2年3月31日現在)

債権の名称	前年度末現在高		本年度中				本年度末現在高		備考
	金額	件数	増		減		金額	件数	
			金額	件数	金額	件数			
介護福祉士等修学資金貸付金	円 794,000	1	円 0	0	円 0	0	円 794,000	1	
介護保険財政安定化基金貸付金	4,332,000	1	0	0	2,166,000	0	2,166,000	1	
三津白寿苑土地貸付料	46,632	18	0	0	7,772	3	38,860	15	
巖城はごろも苑土地貸付料	7,046,218	2	0	0	3,523,109	1	3,523,109	1	
合計	12,218,850	22	0	0	5,696,881	4	6,521,969	18	

13 財産の貸付け及び使用許可調べ

(1) 土地及び建物
ア 土地

(令和2年3月31日現在)

行政・普通財産の区分	貸付(使用許可)目的	所在地	数量又は面積	貸付(使用許可)年月日	当初貸付(使用許可)年月日	貸付(使用許可)期間	貸付(使用)料(円)		貸付(使用許可)先 住 氏 所 名	備 考
							単価	本年度の貸付(使用)料		
普通財産	配電線施設用地	鳥取市三津869-7	本柱1本 支線1条	H27.3.11	H2.7.26	H27.4.1 ~ R7.3.31	年額 3,000	3,000	鳥取市新品治町1番地6 中国電力株式会社 鳥取営業所長	三津白寿苑 ID:14-
	污水管施設	鳥取市伏野 字中の茶屋 裏1771-5	20.856 ㎡	H27.3.11	S48.6.1	H27.4.1 ~ R7.3.31	年額 2,252	2,252	鳥取市三津876 独立行政法人国立病院機構 鳥取医療センター院長	"/ ID:14- 00167390
	配電線施設用地	鳥取市三津869-7	本柱6本、 支柱1本 支線柱1本 支線5条管 路引上管2 条	H27.3.11	S49.4.1	H27.4.1 ~ R7.3.31	年額 2,520	2,520	鳥取市湯所町2-258 西日本電信電話株式会社 鳥取支店長	"/ ID:14- 00167574
	特別養護老人ホーム	倉吉市巖城920-2	13,341.07 ㎡	H30.3.26	H17.3.31	H30.4.1 ~ R3.3.31	年額 3,523,109	3,523,109	鳥取市伏野2259-43 社会福祉法人鳥取県厚生 事業団理事長	巖城はごろ も苑(ID: 17- 00293080)
	特別養護老人ホーム	智頭町智頭1928-1	4,836.74 ㎡	H14.4.1	H14.4.1	H14.4.1 ~ R14.3.31	年額 0	0	智頭町智頭2072-1 智頭町長	智頭心和苑
計							3,530,881			
合計							3,530,881			

イ 建 物

該当なし

(2) 物 品

該当なし

14 借受不動産明細調べ

該当なし

15 職員駐車場の管理状況調べ

(1) 管理状況

該当なし

(2)減免の考え方(減免を行った場合のみ)
該当なし

(3)使用料の見直し
該当なし

16 寄附物件の受納状況調べ
該当なし

17 備品の処分状況調べ

(令和2年3月31日現在)

品名 (規格・銘柄)	(保管換年月日) 取得年月日	不用 決定 年月日	処分				備考
			売却 棄却 の別	売却方法・ 棄却理由	処分 年月日	売払額・ 処分費用	
8・ビデオ	平成10年 10月19日	令和2年 3月13日	棄却	耐用年数経過・ 故障のため	令和2年度 4月1日	円 0	
合計							

18 現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ

(1) 現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ

有・無

(2) 物品の照合

有・無

19 貸付金等状況調べ

(1) 総括表

貸付金の名称	貸付先	貸付額			本年度(元金のみ)			本年度未現在 貸付残高 (A+B)-(C+D+E)	備考
		前年度未現在 貸付残高 (A)	本年度 貸付額 (B)	償還額 (C)	不納欠損額 (D)	償還免除額 (E)			
介護福祉士等就学資金貸付金返還	個人1名	794,000	0	0	0	0	794,000		
介護保険財政安定化基金貸付金償還金	日野町	4,332,000	0	2,166,000	0	0	2,166,000	日野町からの償還金	
合計		5,126,000	0	2,166,000	0	0	2,960,000		

(単位:円)

(2) 償還状況

(介護福祉士等就学資金貸付金返還)

区分	貸付額		本年度				本年度末		備考
	前年度未現在貸付残高 (A)	本年度 貸付額 (B)	収入調定額 (C)	償還額 (D)	不納欠損額 (E)	償還免除額 (F)	収入未済額 (C-D-E-F)	償還期 未到来分 (A+B-C)	
元金			0	0	0	0	0	0	
			0	0	0	0	0	794,000	
	794,000	0	0	0	0	0	0	794,000	
合計			0	0	0	0	0		

(単位:円)

(介護保険財政安定化基金貸付金)

区分	貸付額		本年度				本年度末		備考
	前年度未現在貸付残高 (A)	本年度 貸付額 (B)	収入調定額 (C)	償還額 (D)	不納欠損額 (E)	償還免除額 (F)	収入未済額 (C-D-E-F)	償還期 未到来分 (A+B-C)	
元金			0	0	0	0	0	0	
			2,166,000	2,166,000	0	0	0	2,166,000	
	4,332,000	0	2,166,000	2,166,000	0	0	0	2,166,000	
合計			2,166,000	2,166,000	0	0	0		

(単位:円)

○ 意見、要望等

(1)業務に関する要望等

特になし

(2)監査委員事務局に対する意見・要望等

特になし